	+	Ī		*****				
請	議名 ————		T t	ごジネス能力 	1			
総合ク	リエイト科	1 学年	担当	担当教員		市川麻波		
講	義形態	講義	単位数	10	講義時期	前期・後期		
授業目的・目標	* 他者と良好な人間関係構築のために必要な「対人関係能力」を具体的に理解するため、「愛想」「愛嬌」をキーワードにして、求められる「態度・表現・言葉」を習得する。  理解度の確認として、11月実施の「サービス接遇検定3級」合格を目指す。							
授業計画	1回 サービススタッフの資質とは 23回 社交儀礼 2回 サービススタッフに必要とされる要件 24回 実務技能理解度確認 3回 サービススタッフについて理解度確認 26回 サービス接遇検定過去問題 4回 サービススタッフについて理解度確認 26回 サービス接遇検定過去問題 5回 サービスの意義と種類 27回 サービス接遇検定過去問題 28回 サービス接遇検定過去問題 7回 サービスの専門知識理解度確認 29回 サービス接遇検定過去問題 30回 サービス接遇検定過去問題 30回 サービス接遇検定過去問題 30回 サービス接遇検定過去問題 31回 サービス接遇の実践 30回 サービス接遇の実践 31回 サービス接遇の実践 31回 サービス接遇の実践 32回 社会における活用 11回 対人技能 33回 社会における活用 12回 人間関係の理解 34回 社会における活用 15回 接遇知識 14回 顧客心理の理解 15回 接遇用語 16回 提示・説明の仕方 17回 接遇者としての身だしなみ 18回 対人技能理解度確認 19回 問題処理 20回 環境整備 21回 金品管理 22回 金品搬送							
学習・教育目標	生き生きとした、明るい調子の話し方で応対できる 明るく、親しみやすい笑顔で応対できる 丁寧な所作で応対できる 相手が喜ぶようなことを言える 相手から交換を持たれるような言葉や話し方ができる 相手が好ましさを感じる表情や振る舞いができる							
成績評価基準	検定結果 定期試験	30%						
教科書・参考文献	サービス接続	週検定 公式テキスト	3級					

	講義名				ジネス能力	 П		
総合ク	リエイト科	2	2 学年		教員		 市川麻波	
講	義形態	講義		単位数	10	講義時期前期・後期		
授業目的・目標	社会人として様々な場面で求められる「ヒューマンスキル」について学ぶ。 他者と良好な人間関係構築のために必要な「対人関係能力」を具体的に理解するため、 「愛想」「愛嬌」をキーワードにして、求められる「態度・表現・言葉」を習得する。 理解度の確認として、11月実施の「サービス接遇検定3級」合格を目指す。							
授業計画	10回       一般知識理解度確認       32回 社会における活用         第       11回 対人技能       33回 社会における活用         計       12回 人間関係の理解       34回 社会における活用         12回 接遇知識       13回 接遇知識							
学習・教育目標	明るく、親しみやすい笑顔で応対できる 丁寧な所作で応対できる 相手が喜ぶようなことを言える 相手から交換を持たれるような言葉や話し方ができる 相手が好ましさを感じる表情や振る舞いができる							
成績評価基準	出席状況 検定結果 定期試験							
教科書・参考文献	サービス接続	遇検定 公式テキ	Fスト 3f	級				

講	<b>養名</b>		カラー	ーコーディネー	- <b>h</b> I		
1	学年	総合クリエイト科	担当教員	飯田	邦彦	実務経験	有
講義	形態	講義	単位時間数	76	講義時期		・後期
授業の目的・目標	光の性質、色の調和についるらに、この。	の日常生活で幅広く活用さ 色の三属性、色を感じる目の いて学習していく。 ような知識をグラフィックデ 介をしながら実践的なカラ・	の仕組み、色 ザインやフャッ	を表すための ッションなど様	)表色系など、	色彩の基本を	
授業計画		光眼照混色P言色色色配配配配前色ファイイ と色しと 分の と る的対象	ィネーション	21回 22回 24回 25回 26回 27回 28回 29回 31回 32回 34回 34回	ユ色視照マ色色後自自配配配配ニの覚明ン名彩期然然色色色色ハ性系 セ 調試のか技技イイー質の ル 和験秩ら法法メメリン情 表 序学 ジジ	登 造と色 色系 からの色彩調 ぶ配色	和
授業の到達目標	・人間の視覚・色の三属性 ・色彩心理、 ・色彩調和理	照明の仕組みについて理け 構造を理解する。 を理解し、PCCS、マンセノ 色彩理論を理解し、色彩訓 論から配色イメージを実践 、デザイン、インテリアにお	レ表色系を理 間和理論を学ん もできるように	ぶ。 する。			
成績評価基準	・出席状況 ・課題・取り ・定期試験	10% 且み状況 15% 75%					
教科書・参考文献		定公式テキスト3級 定公式テキスト2級					

講	<del></del> 養名		カラー	ーコーディネー	- <b>⊦</b> I		
2	学年	総合クリエイト科	担当教員	飯田	邦彦	実務経験	有
講義	形態	講義	単位時間数		講義時期		・後期
授業の目的・目標	彩科学といっ	引の日常の空間を潤す重 ったより深い知識を学ぶこ ・色彩心理、配色イメージ	とにより、色を	扱う専門家と	は何かを解説	覚する。	
授業計画	1000000000000000000000000000000000000	ビジジュッションディインとのでは、 デジジュッションディーンシーでは、 デザザインンンテーリーでは、 デザザインンンテーリーリーで、 デザザインンンテーリーリーで、 デザザザザインンンテーリーリーで、 デザザザザインンンテーリーリーで、 デザザザザインンンテーリーリーで、 デザザザザインンンイイインンとのののののののののののののののののののののののののの	彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩彩	21 22 23 24 20 20 20 20 20 20 31 30 31 33 34	色色色フフププ後イイ環環ユユの心心シシグクはアテテ発発ババの心心シシグクはアテ発発がバ東理理ヨヨトト験アア展展一一条シグ発発を発展・ササ	発展 展 展 展 ・展 展	
授業の到達目標	<ul><li>・色彩調和論</li><li>・グラスマン(</li><li>・色彩心理、</li><li>・色彩調和、</li></ul>	との関わりを理解する をその歴史と共に学ぶ の法則を理解する 色彩理論を理解し、色彩 心理、理論から配色イメー との関わりをより発展した	−ジを実践でき	るようにする	0		
成績評価基準	・出席状況 ・課題・取り ・定期試験	10% 且み状況 15% 75%					
教科書・参考文献		定公式テキスト2級定公式テキスト1級					

講義	名		I	デザイン	I			
総合クリニ	エイト科	1 学年	担当教員	福田	] 周史	実務経験	有	
講義用	形態	演習	単位時間数	152	講義時期	前期・	後期	
授業目的・目標		コンピュータ環境におけ	ける、TI技術の	習得とデ	ザインに関す	る知識を深め	る。	
授業計画	1回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	ベクターソフト①図形、ベクターソフト②選択とベクターソフト③色の和色彩構成の実習制作課題 色彩補正、画像的線と文字の編集レイヤーの理解描写演習 ラスターソフト①選択に ラスターソフト②選択に ラスターソフト③画像の正の実習制作	PCの操作方法 24回 ラスターソフト④ペイントグラフィックソフトの基本操作と理解 25回 ベクターソフト①図形、線の描写 26回 ペイントの実習制作 27回 課題 ラインスタンプ制作 ベクターソフト③色の利用 28回 29回 課題 色彩補正、画像修正作品 30回 グラフィックソフトの連携 31回 31回 31回 35回 35回 36回 35回 36回 ラスターソフト①レイヤーと色調補正 37回					
学習・教育目標	· · ·	グラフィックソフトの応画像加工技術の習得 色彩加工技術の習得 計画的なデザインの構築 情報の収集能力を高める 独創性を養う	Net.	理解する。	,			
成績評価基準	・出席状 ・課題・〕 ・理解と	取り組み状況 60%						
教科書・参考文献		技術評論社 Illustrator		—— 操作とデ <u>†</u>	――― ザインの教科			

講義	名	ITデザインⅡ								
総合クリニ	エイト科	2 学年	担当教員	福田	田周史	実務経験	有			
講義牙	形態	演習	単位時間数	152	講義時期前期・後		後期			
授業目的・目標		コンピュータ環境における、TI技術の習得とデザインに関する知識を深める。								
授業計画	1回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	関心があるものを検証し 愛知県鉄道路線図の制作 Aiをテーマにしたグラフ アニメーションソフト基	企業、メーカーのwebサイトを閲覧し 23回 CIシステムガイドライン制作 関心があるものを検証し、まとめる。 24回 25回 26回 27回 28回 29回 30回 Web広告 31回 32回 34回 35回 36回 37回 38回 27 2 38回 29回 30回 Web広告 発信力のあるグラフィック制作 32回 34回 35回 36回 37回 38回 37回 38回 38回 38回 37回 38回 38回 38回 38回 38回 38回 38回 38回 38回 38							
学習・教育目標成績	<ul> <li>グラフィックソフトの応用的な操作を理解する。</li> <li>画像加工技術の習得</li> <li>色彩加工技術の習得</li> <li>計画的なデザインの構築</li> <li>情報の収集能力を高める。</li> <li>独創性を養う。</li> </ul>									
評 価 基 準 教	・出席状治・課題・治・理解・治・理解・治・	取り組み状況 60%								
科書・参考文献	技術評論社 Illustrator&Photoshop 操作とデザインの教科書									

講義	名	広告デザイン							
総合クリ <i>ニ</i>	エイト科	2 学年	担当教員	昌 <del>-</del>	子 衛   実務経験		有		
講義牙	形態	演習	単位時間数	152	講義時期	前期	・後期		
授業目的・目標		広告の歴史、記憶に死 伝えるための広告制作							
授業計画	1回 広告年鑑、コピー年鑑等を閲覧し       23回         2回 関心があるものをファイリングする       24回         3回 (コピーライティングを含む)       25回         4回 課題 公共広告ポスター       26回         5回       27回         6回 7回       29回         8回 9回       30回         1 1回 課題 東山動物園園内マップ       33回         1 2回       34回         1 3回       35回         1 4回       36回         1 5回       37回         1 6回       38回         1 7回       18回         2 0回       2 1回         2 2 回       2 2 回								
学習・教育目標	· ·	画像編集ソフト・操作 広告の目的を理解する インパクトのあるデサターゲットに沿った制建設的なデザインの様	。 ゲインが構築で り作ができる。						
成績評価基準	・出席状 ・課題・〕 ・理解と	取り組み状況 60%							
教科書・参考文献		技術評論社 Illustr	ator&Photosho		——— デザインの教	女科書			

講	義名			,	編集デザイン	,		
総合クリ	エイト科	1	学年	担当教員	飯田	邦彦	実務経験	有
講義	形態	実	373 E	単位時間数	152	講義時期	前期	後期
授業目的・目標	コンセプトを		アを形にし	デザインの基 て行くプロセ えてみる	-	がら、本、こ	<b>フライヤー、</b>	ゲーム、販
授業計画	1回 2回 3回 4回 5回 7回 8回 10回 11回 13回 14回 15回 17回 18回 19回 21回 21回 22回 22回	をデザイン 印刷の基本 文字、図到 全6回 ゲームパック ゲームのF をデザイン ゲームパック	字を吟味 で で で で で で で で で で で で で	きえる イン ルパッケージ レールを知る	25回 26回 27回 28回 29回	カレンダー: 全6回	デザイン	
学習・教育目標は	・構成を理解 ・さまざまだ。 ・視野を広い ・計画に沿っ	解し配置につ な視点からイ く持ち様々な って制作する	いて考える メージを形 アイデアを ことができ				5	
績 評 価 基 準	・出席 ・授業姿勢 ・課題作品		%					
教科書・参考文献	・デザインで・デザインで							

講	<b>養名</b>	イラストレーション								
総合クリ	エイト科	2	学年	担当教員	飯田	邦彦	実務経験	有		
講義	形態	実習		単位時間数	76	講義時期	前期	・後期		
授業目的・目標		世界観、心情 とは何かを考		像し、一枚の	)作品として	表現できる抗	支能を身につ	け、個性あ		
授業計画	1回 2回 4回 5回 6回 78回 10回 11回 14回 15回 16回 17回 18回 20回 21回 22回 22回	1テスク5場所2場所3実施3実施5大力6大力7大力8大力9大力	デーマを元(がわなる) デス作品に対 デス作の、 物 でするが、 を考 を表 ではます。 ではます。 ではます。 まず。 まず。 まず。 まず。 まず。 まず。 まず。 まず。 まず。 まず	こ、時間や を描く。 受影する 語などをど え、描く。 複数の作 きのある作	23回 24回 25回 26回 27回 28回 30回 31回 32回 33回 34回	「自由な表現	表現その2 現その1」に 現の可能性を			
学習・教育目標成績評価基準教育	・場面設定 ・情景や心 ・自由なア		どを良く検 ためには何 ーマを表現 解し表現に % %	が必要かを考 できる	きえる		3			
科書・参考文献	・デザインの									

講	義名				デッサン			
総合クリ	エイト科	1	学年	担当教員	飯田	邦彦	実務経験	有
講義	形態	美	?羽	単位時間数	76	講義時期	前	期
授業目的・目標	基本である。	。授業では、	静物画、人		<sup>-</sup> ッサンなど	覚」「表現で を通じ、陰影 。		
授業計画	20 30 40 50 60 70 80 90 100 120 130 140 150 160 170 180 190 210 220	全6回 人物 クタイク (大学な) (大学	いを見分ける キー 造を知る ン 写を身につい た モガ ラ	ナる	23回 24回 25回 26回 27回 28回 30回 31回 32回 33回 34回	してみる	素材を利用しいう条件で素材を	
学習・教育目標は	・陰影を表す ・人体の構 ・遠近法を ・自由なア	現し立体感を 造を理解し人 理解し、空間 イデアからす	を表現でき  -−マを表現    	とができる ることができ る		,		
	・田席・田席・授業姿勢・課題作品	25	% % %					
教 科 書 ・ 参 考 文 献	・絵画論 ・美術解剖[							

講	養名	ファッションビジネス I					
1	学年	総合クリエイト科	4	担当	<b>教員</b>		近藤 トシエ
講義	形態	演習		単位時間数	76	講義時期	前期•後期
授業の目的・目標	ファッション商	<b>寄品を個々のアイデア</b>	てより	企画・生産し	販売するま	でのビジネスラ	·インを学ぶ。
授業計画	1000000000000000000000000000000000000	フ / 考 / ラ / デ   対		こついて	21回回 22回回 23回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	製製製販販自自自自自自自自作作作作の告記品は、日本のおります。これでは、「おおり」では、「おおり」では、「おおり」では、「おおいった」では、「いった」では、「いった」で	作 作 作 作 作 作
授業の到達目標	・ブランドネー ・コンサルテ	が分野を生かして商品ームなど細部にこだわィングセールスを基本さわりを持ち店舗設計	り商品 に製作	企画・製作を	テする		
成績評価基準	・出席状況 ・課題・取り糸 ・購買結果よ	組み状況	10% 80% 20%				
教科書・参考文献		定公式テキスト3級 定公式テキスト2級					

講	————— 義名		ファ	ッションビジ	ネスⅡ	
1	学年	総合クリエイト科	担当	教員	近	直藤 トシエ
講義	形態	演習	単位数	5	講義時期	前期·後期
授業の目的・目標	個々のアイラ	デアによりブランドコンセブ	゚゚トを掲げ、ブラ	ンド名、ファ	ッション商品を企	画・生産、販売する。
授業計画	1000000000000000000000000000000000000	タ"ブ"ブタ商試"",製製製製製製製製製製製製製製製製製製製製製製製製製製製製製製製製製製製		21回 22回 23回 25回 26回 27回 28回 30回 31回 32回 34回 34回	製作 製作作 製物で 製物で 製物で で で で で で で で で の は き で と と と め め め め め め め り め り め り め り め り め	Dレイアウト考案 成 ング
授業の到達目標	・ブランドネー ・コンサルテ	☆ 分野を生かして商品を企 - ムなど細部にこだわり商 ィングセールスを基本に わりを持ち店舗設計する	i品企画・製作る 製作する。	をする		
成績評価基準	・出席状況 ・課題・取り糸 ・購買結果よ	10% 且み状況 80% り企画・生産力 20%	ó			
教科書・参考文献		定公式テキスト3級定公式テキスト2級				

講事	養名		フ	アッション販	売 I	
2	学年	総合クリエイト科	担当	担当教員		丘藤 トシエ
講義	形態	演習	単位時間数	76	講義時期	前期•後期
授業の目的・目標		商品の販売にたずさわる販 術認定」の資格取得を目指		ての知識、	技術の基知識を <sup>3</sup>	習得し「ファッション販
授業計画	1000000000000000000000000000000000000	ファッション販売についてファッション販売についてファッション販売についてファッション販売についでファッション販売についでファッション販売では、 1 ファッション 販売では、 2.3	· テップ1	21回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	商シ商絵販販備売売売模解解ラまま品ルインの示え業管場場場問①②ンとというできまりりりとというできません。(構の質理フリリリの)の 対策を対しては、の質理フリリリのの がりりり 知知がない はいかい かいかい かいかい かいかい かいがい かいがい かいがい かいが	業務
授業の到達目標	・販売スタップ ・一般常識と ・ファッション	商品の知識を習得する フとしての基本知識の習得 しての接客技術を身につけ アドバイスをするための基	ける			
成績評価基準	・出席状況 ・課題・取り糸	10% 且み状況 90%				
教科書・参考文献	・ファッション・要塞技術認	販売3 記定試験問題集				

講	養名		フ	アッション販	売Ⅱ	
2	学年	総合クリエイト科	担当	教員		近藤 トシエ
講義	形態	演習	単位数	5	講義時期	前期•後期
授業の目的・目標		商品の販売にたずさわる販 製処理など知識と技術の習		.ての知識、	技術の向上を目	指す。販売商品の直しテ
授業計画	1000000000000000000000000000000000000	ファッション商品についてファッション販売についてファッション販売について商品知識(縫製処理)商品の構成理解商品知識(構成とディディー直しの方法① 直しの方法② ラッピング実習	<b>ー</b> ル)	21回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	パターン処理 自由作品製作 ▼ ととめ	
授業の到達目標	・販売スタップ ・一般常識と ・ファッション	商品の知識を習得する フとしての基本知識の習得 しての接客技術を身につけアドバイスをするための基	ける			
成績評価基準	- 出席状況 - 課題 - 取り糸	10% 且み状況 100%				
教科書・参考文献	・ファッション・要塞技術認	販売3 R定試験問題集				

講義	:名		総合ファ	ァッション	 /造形 I	
総合クリ	エイト科	1 学年	担当教	[員		落合 玉嬉
講義	形態	実習	単位時間数	152	講義時期	前期・後期
授業目的・目標	デザインが 生地の素料 経製の手					
授業計画	100 300 300 300 300 300 300 300 300 300	2回3回3回4回4回製図の基本5回(スカートから)6回7回我断・本縫い3回10回11回12回デザイン・ブラウス13回14回14回製図15回16回16回裁断・本縫い17回18回19回ワンピース21回フンピース		23回 24回 25回 26回 27回 28回 30回 31回 35回 36回 37回 38回	製図裁断・本経	トレンチコート製作
学習・教育目標		ョンから洋服のデザインに合った、B45:J49生 <sup>は</sup>		-	ň°,	
成績 評価基準教科	出席状況: 課題制作語 課題取り組 服飾造形語	評価40% 組み状況30%				
科書・参考文献						

講義	<del></del> 名		総合フ	アッション		
総合クリ	エイト科	2 学年	担当教	[員		落合 玉嬉
講義	形態	実習	単位時間数	152	講義時期	前期・後期
授 業 目 的 ・ 目 標	デザインが 生地の素材 経製の手順					
授業計画		デザインスカート 製図 裁断 本縫い デザインワンピース 上着 製図 裁断 本縫い		23回 24回 25回 26回 28回 30回 31回 33回 35回 36回 37回 38回	裁断 本縫(	デザインスーツ
学習・教育目標 成績評価基準教科書	デザイン( 出席状況: 課題制作	評価40% 組み状況30%		方法を学ぶ	No.	
· 参 考 文 献						

講義	名			ペット	-ビジネス :	I		
総合クリニ	エイト科	1	 学年	担当教員	石田	奈緒美	実務経験	有
講義牙	形態	講義 単位時間数 76 講義時期 前期			•後期			
授業目的・目標	用具の使い		一の手順なる	構義を通じて学、 どを基礎から、 ス 。		管理などプロ	フェッショナ	ルとして必
授業計画		ト体体体人人人皮皮皮皮皮耳耳前テ目目鼻鼻い調格格間間間膚膚膚膚のの期スののとといの cs変動動動つつつつつ気気験却りり病病前常 ta	チゅすりとととと 目動動気 エ 増る共共共働働働働 の、、 いう 気感感感、、、、、 つ病病 会感感感、、、、、 に いっぽ いっぽん ない ない いん いん ない いん ない いん ない いん ない かん ない かん ない かん ない かん		21回 22回 23回 24回 25回 27回 28回 30回 31回 33回 34回 35回 37回 38回 38回	ラララララ使おお足足足足後テ <b>愛おお</b> ムムムム人役尻尻先先先先期ス <b>護客客</b> ククククク大、、、、、、、試験 <b>とせ様</b> リリリリリリの散腹、、、、、験却 <b>タのの</b> プププリーはまま腰腰腰腰 (写写	(紙紙粘料というですが、 は、紙紙料料というですが、 は、紙料料というできまますが、 でですが、 でですが、 でですが、 気気病病病病病病 のののののののののののののののののののののののののののの	(体化する) (体化する) (体化する) (体化する) (体化する) (大体化する) (大体化する) (大体化する) (大体化する)
学習・教育目標	犬の健康管各種道具に グルーミン	こついて、その グの手順を知	本の構造、手 )成り立ちか。 ]り。それぞれ	。 入れの方法を ら、使用方法、糸 んの工程につい り良いトリミンク	推持、手入。 て、正しい <sup>3</sup>	里解を得る。		0
成績評価基準教	・定期試験	リ組み状況 4 i 4	5%					
教科書・参考文献				ール・ワーク・ブ	ック			



講義	 名			ペット	・ビジネス	I		
総合クリニ	エイト科	2	学年	担当教員	石田	奈緒美	実務経験	有
講義刊	講義形態 講義 単位時間数 76 講義時期				前期	•後期		
授業目的・目標		インを考え形し		個体に適したト	リミングが	できるよう学え	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
授業計画	8 回 9 回 10 回 11 回 12 回 13 回 14 回 15 回	道道道寄寄寄ド12ググラボー接接接接具具生生生ツググググラフリルス客客客客ののの虫虫虫グーーールルグー試返接接接知知知、、、シプププーールプ験却遇遇遇識識識細細細コープププーー	<sup>クリッパー</sup> ブラシ、ブラッキング 菌 菌 ロトスタンク		21回 22回 23回 24回 25回 27回 28回 30回 31回 35回 35回 37回 38回 37回 38回	カデデデデ開カカカ消消消後テ愛おおッザザザザザ業ルルル毒毒毒期ス護客客デレンしたたた。、、、「はたたたた備登登登」、「は返してのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	のをカットする(のをカットする(のをカットする(のをカットする(のをカットする(のをカットする)のをカット	ウィック) ウィック) ウィック) ウィック) 作成成 の制作
学習・教育目標	犬の健康的各種道具に グルーミン	こついて、その グの手順を知	本の構造、手 )成り立ちか。 ]り。それぞれ	。 入れの方法を ら、使用方法、糸 れの工程につい り良いトリミンク	推持、手入。 て、正しい <sup>3</sup>	理解を得る。		
成績評価基準	・出席状況・課題・取り・定期試験	り組み状況 4	0% 5% 5%					
- 教科書・参考文献				トル・ワーク・ブェ	ック			



講義名		ペットの飼育・管理 I						
総合クリ	エイト科	1 学年 担当教!			)員		﨑山 房子	
講義	講義形態		義	単位時間数	10	講義時期	前期・後期	
授業目的・目標								
授業計画	1回 P13~P87第1巻第1篇 2回 愛玩動物飼養管理十とは 3回 P48~P128第2編 4回 牛命倫理・動物福祉 5回 P160~P176第4編動物の遺伝と繁殖生理 6回 『 7回 P178~P203第5編動物の行動としつけ第 8回 1章発達過程と社会行動 9回 P204~P217第5編動物の行動としつけ第 10回 2章学習理論 11回 P243~P328第6編動物愛護・適正飼養関 12回 連法規『 13回 P18~P254第2巻第7編愛玩動物学・第8 14回 編人と動物の関係学 15回 P256~P444第8編動物生活環境学・第 16回 10編ペット関連産業概論 17回 6月オンラインによるスクーリングの視 18回 聴 19回 課題提出問題集まとめ 20回 前期テストの解説 21回 課題提出問題集の解説と受験準備				23回 24回 25回 26回 27回 28回 30回 31回 35回 36回 37回 38回 38回	24回 アップ 25回 課題提出問題集の解説と受験準備 26回 27回 作品展作品制作 28回 29回 後期テスト・後期テストの解説 30回 31回 愛玩動物飼養管理士再受験者フォ 32回 ローアップ 33回 全動専サロントリマー検定フォロー 34回 アップ 35回 愛玩動物飼養管理士再受験者のため 36回 のフォローアップ 37回 人とペットの共生サポートセンター		
学習•教育目標成績評価基準教科書:参考文	サロント	リマー検定針 に関する社会 ト	○資格修得を 記試験合格 <sup>2</sup> 会活動につい <sup>2</sup> 30% 20% 50% 動物飼養管理 <sup>2</sup>	を目指す。 て知る。	動専サロ	ントリマー検	定公式模擬問題集	

講義名		ペットの飼育・管理 I						
総合クリ	エイト科	1	学年	担当教	.員		﨑山 房子	
講義	形態	講	義	単位時間数	10	講義時期	前期・後期	
授業目的・目標								
授業計画	1回 P13~P30第1編動物の体の仕組みと働き 2回 II 3回 P33~P61第2編動物の遺伝と繁殖生理 II 4回 5回 6回 P65~P117第3編動物の行動と社会 7回 8回 P119~P256第4編犬と猫の栄養学・第5 9回 編飼育動物の種類と特徴 10回 P15~P86第6編動物愛護・適正飼養関連 11回 法規II・第7編動物医療等関連法規 12回 P87~P163第8編動物の疾病とその予 13回 防・第9編動物の飼養管理と公衆衛生 14回 P165~P196第9編動物の飼養管理と公衆 15回 衛生 16回 17回 P203~P297第10編適正飼養指導論・第 18回 11編自然と人間 19回 20回 オンラインによるスクーリング視聴 21回 課題報告問題回答 22回 課題報告問題解説				23回 前期テスト・前期テスト解説 24回 課題報告問題解説 25回 26回 27回 28回 29回 作品展作品制作 30回 31回 31回 32回 33回 検定問題解説 34回 35回 愛玩動物飼養管理士再受験者のため 36回 37回 後期テスト・テスト解説 38回 人とペットの共生サポートセンター			
学習・教育目標成績評価基準教科書・参考文	サロント	٢	記試験合格 <sup>2</sup> 活動につい <sup>3</sup> 30% 20% 50%	を目指す。 て知る。	動専サロ	ントリマー検	定公式模擬問題集	

講義	名			トリ	ミング実習	 図 I					
総合クリニ	エイト科	1	学年	担当教員	神谷 桃可	古庄 悠里子	実務経験	——————— 有			
講義牙	形態	詳	<b>購</b> 義	単位時間数	152	講義時期	前期	・後期			
授業目的・目標	・犬との	・グルーミング、トリミングの技術、基礎を学ぶ。 ・犬とのコミュニケーションの取り方、接し方を学ぶ。 ・飼い主の注文通りのカットを目指す。									
授業計画	1000000000000000000000000000000000000	2回 (シャンプー、ブローの再確認) 24回 3回 4回 25回 4回 26回 5回 27回 6回 28回 7回 29回 8回 30回 9回 31回 31回 10回 32回 11回 33回 1人でモデル犬のカット 12回 34回 35回 14回 36回 37回 16回 37回 16回 38回 ▼ 17回 18回 時間の短縮(2人で1匹) 20回 21回 時間の短縮(2人で1匹)									
学習・教育目標				知識と技術を野な知識と技術		o					
成 績 評 価 基 準	・実技能力	・出席、授業態度、身だしなみ 75% ・実技能力25%									
教科書・参考文献	· dog gro	oomers pro	ofessional wo	ork book							

講義	:名 			トリ 	ミング実習	当 II ———————————————————————————————————				
総合クリ	エイト科	2	学年	担当教員	神谷 桃可	古庄 悠里子	実務経験	有		
講義別	形態	Ē	講義	単位時間数	152	講義時期	前期	・後期		
授業目的・目標		・グルーミング、トリミングの技術、基礎を学ぶ。 ・犬とのコミュニケーションの取り方、接し方を学ぶ。 ・時間内に一人で犬を仕上げれるようになる。								
授業計画	10回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	(3級程度	E文通りのカックの実力を身にプー、ブローの	着ける)	23回 24回 25回 26回 27回 28回 30回 31回 33回 34回 35回 36回 37回 38回	▼ 一人で犬を	仕上げれる	ようになる		
学 習 ・ 教	・グルー	ミングに必要な アングラ アングラ アング アング アング アング アンション アン・アン アン・アン・アン アング アン・アング アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アング アング アング アング アング アング アング アング アング アング	要な知識と技術	知識と技術を身 術の再確認 きるようにする		。(3級未合构	各者)			
育目標										
成績評価基準	・実技能力	カ 25%	身だしなみ							
教科書・参考文献	· dog gro	oomers pr	ofessional w	ork book						